

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25～27℃台を示し、高め～甚だ高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり18トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり118kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり3.1トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり33kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり912kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、マアジなどが1日1統当たり653kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり8kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マガツオなどが1日1統当たり344kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり270kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/9～10/13の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島の北西沖で操業。
沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～山形沖で操業。
鳥取県西部（沖合船）2日延33隻、総計4,306箱、1航海最高397箱、平均130.5箱。
スルメイカを漁獲、魚体は20～30入り。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>